

猪名川町地球温暖化対策実行計画（案）に対する パブリックコメント及び町の考え方

意見募集期間：令和6年1月15日～2月14日

意見提出者数：3人

提出意見数：8件

■猪名川町地球温暖化対策実行計画（案）について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見提出者	頁	章	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方（対応）
1	1			事務事業編 区域施策編	<p>町としての判断を優先してほしい</p> <p>実施政策の策定にあたっては、国や県などの意向とは独立に、猪名川町の住民の利益を優先してほしい。政府が主導している「地球温暖化対策」なので、そこから求められる自治体としての立場もあるでしょうが、ここは地方自治体の独立性を示して、町の貴重な財源を浪費しないように、町として根拠の確認を行い、判断を厳密に行ってほしい。</p>	<p>本計画は地球温暖化対策推進法及び国の地球温暖化対策計画に基づいたうえで町の方針を示すものです。ご指摘の点につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	1			事務事業編 区域施策編	<p>根拠の確認をしっかりと実施してほしい</p> <p>「地球温暖化」について、CO2が主因なのかどうかの確認が必要だと思えます。</p> <p>IPCCの地球温暖化に関する説明には怪しいところが多々あるようです。</p> <p>例えば、図書：丸山茂徳ら「地球温暖化「CO2犯人説」は世紀の大ウソ」には根拠のおかしいところが明示されています。</p> <p>また、Xの投稿：https://twitter.com/i/status/1738863866900078641（2023.12.24 要約として：地質学者ランドール・カールソン「現在の気候は6億年間で最もCO2排出量が少ない。彼らは過去のグラフをねつ造した」）もあります。</p> <p>十万年単位のスパンでは今地球は寒冷化傾向にあり、21世紀に入って気温はIPCCが予測する温暖化傾向を示さず（上昇していない）、昨12月には欧州の多くが雪に覆われミュンヘンでは雪で身動きがとれなくなった、などの事実や科学的データがあります。住民の利益につながる施策を厳選して行いませんか。根拠が怪しいものを政策として実施することはムダです。</p>	<p>ご意見にありますように、地球温暖化の主因がCO2であることを疑問視する研究データが一定程度存在してはおりますが、CO2をはじめとする温室効果ガスが地球温暖化といった気候変動に影響を与えているものであるとの研究データも数多く存在しております。国全体としてもCO2の削減を推進していることを鑑みると、本町においても人間の活動により発生するCO2を削減するための施策を、可能なものから順次実行していく必要があると考えております。</p>

3	1	12	6	事務事業編	<p>「太陽光発電の最大限の導入」を見直ししてほしい</p> <p>「事務事業編」の具体的な取組内容について、省エネルギー対策として外皮の高断熱化や複層ガラスの導入他の項目は基本的に賛成ですが、太陽光発電と電動車導入については再検討をお願いしたい。</p> <p>太陽光発電は発電量安定性の問題、ソーラーパネルの製造時のCO2発生、山林へのパネル設置による土砂災害の日本各地での被害発生、パネルの寿命時点での廃棄問題、設備更新費用、国民の再生エネルギー賦課金負担、などデメリットが大きく、町・町民にとって推進メリットは無いと思います。建物に付設する太陽光発電設備の場合でも、上記の複数項目についてほんとうにCO2削減につながるのか、数字で根拠を示すことが必要だと考えます。</p> <p>また、太陽光発電パネルを中国製の低価格のものを採用するならば、ウイグル人強制労働の人権問題への配慮がないことが問題になりますし、広い視野で日本としての国益を考慮するならば国産品を採用すべきです。コスト計算にはぜひ反映いただきたい。</p> <p>これらは電動車についても同様です。</p>	<p>太陽光発電設備は、太陽の光エネルギーを太陽電池により直接電気に変換する発電方法で再生可能エネルギー発電の一つとして期待されているものです。</p> <p>一方、環境省の示す『太陽光発電の環境配慮ガイドライン』にもあるように、自然環境への影響等が懸念されているのはご指摘のとおりです。施策の実施にあたっては、ご指摘いただいているような課題について情報収集を行ったうえで、地域の方々と意見交換を行いながら、検討を進めてまいります。</p>
4	1	15	6	事務事業編	<p>「電動車導入」を見直ししてほしい</p> <p>上記と同様の理由です。</p> <p>また、「区域施策編」についても太陽光発電とEV, FCEV導入について根拠なき積極的拡大には賛成できません。</p>	<p>電動車については、ご指摘のとおり課題は存在するものの、走行時のCO2排出量を軽減することから地球温暖化対策として効果を有するものとして期待されているものです。施策の実施にあたっては、ご指摘いただいているような課題について情報収集を行ったうえで、検討を進めてまいります。</p>
		26	5	区域施策編		

5	1		区域施策編	<p>風力発電も慎重に検討してほしい</p> <p>将来的に風力発電も検討対象になるならば、現状では既存導入地域で住民の健康被害が発生している事例も聞きますので、技術的対策が進んでからの検討をお願いしたい。</p>	<p>風力発電については、現状具体的な事業を検討している段階ではございませんが、今後具体的に施策を検討する場合には、説明会等地域の方々との意見交換を行う機会を設けたうえで慎重に実施してまいります。</p>
6	1		区域施策編	<p>オーガニック農業導入の提案</p> <p>追加項目として、一部の町議会議員が議会で提唱されていますオーガニック農業の導入はいかがでしょうか。</p> <p>CO2削減については、地球温暖化対策としての位置づけには疑問大ですが、無駄なエネルギー消費の低減という観点からは意義があり、そういう活動を進める中でCO2が減るとというのが、本当に地球にやさしい、財政的にもムダのない、また町職員のムダな職務負担を生まない、進め方ではないでしょうか。</p> <p>オーガニック農業導入には土壌中へのCO2固定化効果があり、これは一挙両得の活動になるかと期待します。</p>	<p>オーガニック農業導入については、農業施策において検討してまいります。</p>
7	2	10 ～ 17	6 事務事業編	<p>猪名川町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の具体的な取組内容の記載について、『努めます』という記載が多く、やる気が見えない。</p>	<p>町としては、地球温暖化対策に強い意志を持って取り組んでまいります。ご指摘の点につきましては、一部記載を改めさせていただきます。</p>
8	3	23 24 25 27 28 32	3 区域施策編	<p>猪名川町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）P26の「省エネ型機器・設備の導入促進」のページに家庭用燃料電池（エネファーム）、潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）などの具体的な高効率機器を明示されたほうが町民は理解しやすいと思う。また将来の脱炭素につながる「メタネーション（eメタン）」や省エネにつながる「コージェネレーション」も記載いただいたほうが町民への情報提供として</p>	<p>ご指摘の点につきましては、より具体的な設備名を記載する方が理解が進むことから、一部追記させていただきます。</p>

	65 66 67	5		理解しやすいと思う。	
--	----------------	---	--	------------	--